

2022年度(2022/4～2023/3インシデント・アクシデント報告総数)

医療事故等	レベル	報告件数
インシデント	レベル0	48
	レベル1	206
	レベル2	301
	レベル3a	260
アクシデント	レベル3b	4
	レベル4a	
	レベル4g	
	レベル5	

レベル3bの一括公表

1事例目(公表の同意なし)

発生場所	公立世羅中央病院
発生日	2022年6月
患者の年代	公表の同意なし
患者の性別	公表の同意なし
患者の居住地	公表の同意なし
領域	治療処置に関する事故
発生状況・結果の概要	公表の同意なし
原因	公表の同意なし
再発防止策	公表の同意なし

2事例目

発生場所	公立世羅中央病院
発生日	2022年7月17日
患者の年代	90代
患者の性別	女性
患者の居住地	県内
発生状況・結果の概要	夜間ポータブルトイレに行こうとし転倒。転倒後から腰痛持続し腰椎MRI検査にて第2腰椎の椎体骨折を認めコルセット着用となった。
原因	ポータブルトイレの使用が自立されたため7/1からベッドセンサー中止していた。夜間は安定剤を内服される場合もあり転倒の危険性があった。
再発防止策	夜間の排泄時など移動する場合はコールしてもらうよう説明し、夜間の移動状況を観察し必要に応じて介助を行う。

3事例目

発生場所	公立世羅中央病院
発生日	2023年1月24日
患者の年代	100代
患者の性別	男性
患者の居住地	県内
発生状況・結果の概要	右内頸より中心静脈カテーテル挿入時、穿刺の際に air吸引され、気胸発生。胸腔ドレナージ施行し持続吸引と一時的に酸素投与量の増量が必要となった。
原因	るい瘦。穿刺前にエコーで静脈と動脈の位置関係を確認しておいたが、穿刺時にはエコー下に行なわなかった。
再発防止策	エコーガイド下に穿刺する

4事例目

発生場所	公立世羅中央病院
発生日	2023/2/5
患者の年代	90代
患者の性別	男性
患者の居住地	県内
発生状況・結果の概要	端座位センサー感知し訪室するとPTイレに座っていた。終わったら呼ぶと言われたためナースコールを渡し部屋を出る。2分後物音がしたため訪室すると床にうつ伏せになっていた。鼻出血、前額部・左肘に擦過傷、顔面の痛みがあった。頭部CT検査にて、鼻骨等に骨折線と診断され保存的加療となった。
原因	自分でできるようになったからやってみようと思ったと言われており、リハビリがすすみ自信が付いたことで、コールされなかった。
再発防止策	転倒の危険性をリハビリスタッフや看護スタッフで情報共有し説明する。